

3 センチネルリンパ節生検を受ける乳癌患者の心理

○勝間 明奈（赤穂市民病院）

I. はじめに

近年、乳癌患者に対し、切除範囲の縮小化、必要最小限のリンパ節郭清や郭清後に起こる後遺症回避による術後QOLの向上などの利点から、センチネルリンパ節生検が行われている。本研究は乳癌でセンチネルリンパ節生検を受ける女性患者の疾患、手術に対する思いや不安要因を知ることがを目的とし、術前訪問を通してそれらを知り、介入について考えることができたのでここに報告する。

II. 研究方法

1. データ収集方法：インタビューガイドを作成し、半構成的質問を用いた面接調査をする。
2. 調査内容
 - 1) 説明時の表情・動作
 - 2) 半構成的質問：・乳癌告知時の思い・手術をどのように理解しているか、どのような思いなのか・主治医の説明に対しどのように理解されているか・センチネルリンパ節生検についての思い
 - 3) データ分析方法：面接内容から逐語録を作成し、文脈ごとに分類する。
サブカテゴリー、カテゴリーに分類し、分類名をつける。
3. 倫理的配慮：研究への参加は自由であり、参加に同意しない場合であっても、今後提供する看護に影響はないこと、個人情報の保護を厳守し、知り得た情報を本研究以外に使用しないこと、個人が特定できないよう配慮することを説明し、同意を得た。

III. 結果

事例のローデータから、5つのカテゴリーに分類できた。1つ目に[しこりに気づく]、[乳癌という疾患に対する不安]、[発見できたことの喜び]、[手術を受けるまでの不安]、[家族への気遣い]の5つのサブカテゴリーからカテゴリー名を【乳癌発覚時の思い】と名銘した。2つ目に[治療に対する前向きな姿勢]、[主治医からの適切な説明内容・時期]の2つのサブカテゴリーからカテゴリー名を【疾患・治療に対する受け入れ】と名銘した。3つ目に[主治医が頼りという想い]、[主治医からの丁寧な説明]の2つのサブカテゴリーからカテゴリー名を【主治医との信頼関係の影響】と名銘した。4つ目に[乳房喪失への覚悟]というサブカテゴリーからカテゴリー名を【ボディイメージの変化に対する思い】と名銘した。5つ目に[縮小手術であることの安心感]、[短期間入院であることの安心感]、[手術に対する知識の習得]の3つのサブカテゴリーから、カテゴリー名を【センチネルリンパ節生検についての理解】と名銘した。

IV. 結論

本研究ではセンチネルリンパ節生検を受ける患者を対象としているが、乳癌手術を受ける患者は、疾患そのものに対する不安、治療に対する不安、ボディイメージの変化に対する不安、家族を思う気持ち等、さまざまな思いを抱えていることがわかった。その思いを理解したうえで、個々の患者に必要な援助を行っていかなければならない。